

共に成長を支援するシャイニングクラス

学校教育課長 長谷部 薫

この4月から、学校教育課にお世話になっています。昨年度の報告を読ませていただいたところ、子どもの発達段階や状況に応じた教科学習や体験活動、スポーツなど工夫されたカリキュラムが組まれていました。特に体験活動については、バラエティに富んだメニューで、活動を通して様々な経験を積むことができました。また、多くの指導者とのかかわりもありました。それらのことが子どもたちの心の成長に、大きくつながるものとなりました。1年間の通級を通して多くのことを学んでくれたようです。これも、本人の目標に向かっての頑張りを、ご家族、学校、そしてシャイニングの教育相談員と教科指導員の先生方が共に支えた結果だと思いました。



今年度も、「シャイニング」の言葉のように、子どもたちの限りない可能性を見だし、光り輝くことができるように、「シャイニングクラス」を教育相談活動の大きな柱の1つにしながら、「教育なんでも電話相談」、「相談室での面談」など、子どもや家庭、そして学校を支える場所として新庄市教育委員会の教育相談室が運用されていきます。昨年同様、関係の方々のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

「リスタートクラス」が今年度より、最上広域青少年指導センター（社会教育課内・内線462）に移管されましたが、これまで同様、連携をとりながら活動をしてまいります。

教育相談室の2つの活動のめざすところとその内容を一覧にしました。ご理解をお願いします。

心身ともに明るく元気な新庄っ子の育成

児童・生徒の育ちと環境をじっくり把握し、将来を見つめ、自立をうながす教育相談

教育なんでも電話相談
23-7266

教育相談室

適応指導教室
(シャイニングクラス)

- (担当 鈴木正雄 林さえ子 小野徳子)
- ◎ 悩みや問題への対応、解決に向けての支援
学校や関係機関への要望
 - 電話相談、来室者の面談による相談
 - ケース会議、相談のための訪問、他

- (担当 林さえ子 小野徳子 鈴木正雄)
- ◎ 不登校傾向及び不登校児童・生徒への支援
 - 個別学習指導(国語、社会、数学、理科、英語)
 - 小集団活動(体育、体験)
 - カウンセリングによる個別対応

学校への復帰・生活への適応

リスタート事業

今年度より、最上広域青少年指導センターに移管 (担当 菖蒲)

- ◎ 引きこもりがちな青少年の自立支援
- 居場所づくり、交流活動、ボランティア体験など
- 高校再受験、就労チャレンジ他

シャイニングクラス（適応指導教室）

「有言実行を祈って」

ゆったりとした春休みが明けて、新年度を迎えました。通級生たちはそれぞれ進級し2年生・3年生になりました。シャイニングクラス初回時の会話は、始業式後に発表になったクラス替えのことや担任の先生の情報など、やはり新学期の雰囲気がぶんぶん。初め体調を崩した生徒も次から元気に授業に参加し、改めてほっとしました。

さて、義務教育最終年度を迎えた3年生は、やはり進路選択が最大の課題のようです。具体的にこの曜日には学校に行こう、と決意を口にするようになってきました。そのため、これまで以上に学校とつながっていかうと考えています。

昨年の今頃は、この教室に毎回通うことが当面の目標だった生徒達ですが、なんと精神的成長の大きいこと！！この好機を逃さないよう生徒達以上に学校と相談室が一体となって、生徒たちの有言実行を後押ししていかうと考えています。今年度もよろしくお願ひいたします。

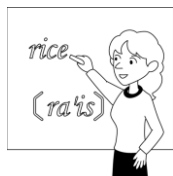
平成26年度 シャイニングクラス時間割

	学習時間	月	火	水	木	金
教科	午前①9:25～10:25	数・国		社会	体験学習	理科
	②10:30～11:30	国・数		英語	(月2回)	体育

始業 9:10 朝の会

帰りの会 11:40 終業

教科担当の先生を紹介します



英語 伊豆倉公子先生

2020年・東京オリンピック！吉村知事は「宿舎・練習場・観光は山形へ！」とPRに一生懸命です。私たちも英語を学んでボランティアで応援しませんか。



数学 齋藤玲子先生

孫3人のおばあちゃんですが、気持ちだけは若くありたいと思っています。子どもたちからパワーをもらいながら、分かりやすい数学をめざしていきます。



社会 押切榮子先生

シャイニング社会科担当5年目の押切榮子です。楽しい中にも要点をとらえた学習をめざしたいと思います。体験活動にもまぜてもらえたら嬉しいです。どうぞよろしくお願ひします。

国語（小野徳子）

理科（小野徳子・鈴木正雄）

社会（押切榮子・小野徳子）

英語（伊豆倉公子・林さえ子）

数学（齋藤玲子・林さえ子）

体育（鈴木正雄・小野徳子・林さえ子）

教育相談員紹介 よろしくお願ひ致します

- 教育相談室2年目の **小野徳子（おのとくこ）** です。主に理科と専門外の国語を担当します。一緒に活動する中で、分かるまで調べたり、話し合ったりして解決していきたいと思っています。どじなので周りの方々に助けていただきながら精一杯やっていきますので宜しくお願ひいたします。
- 相談室勤務も4年目に入りました。教育相談員の **林 さえ子（はやしさえこ）** です。シャイニングクラスの授

業では、主に数学を担当していきます。中学生と一緒に勉強したり、体験活動ができるのをとても楽しみにしています。学校との連携にも努力していきます。今年度もよろしくお願ひいたします。

- 相談担当の **鈴木正雄（すずきまさお）** です。相談室勤務は2年目です。2人の相談員や関係機関との連携を図り、また支援をいただき、相談室の機能を果たしてまいります。笑顔とチームワークで乗り切っていきたいと考えています。よろしくお願ひいたします。

< 子どもに関心をもつこと >

～興味・好きなこと・友達・困っていることを知っている？～

子どもが親や教師など周囲の大人に、いじめなど、自分の悩みを打ち明けるには、いくつもの心の壁がある。問題が深刻であればあるほど、伝えるのは難しいことが多い。第一に、子どもには子どもの仲間意識がある。問題を伝えることで、仲間はづれにされたり、その後の対応いかんでは、いじめが激化してしまったりすることもある。自分が悪いんだと、自責の念を抱えて口に出せない子もいる。弱音を吐きたくない、大人たちを失望させたくない、あるいは負担をかけたくないと思え込む子もいる。どうせ話しても無駄だと諦めている子もいる。本音をもらせるほど大人が信頼されていない場合もある。大人の側が「話を聞くよ」「相談に乗るよ」「力になるよ」というサインを出していないこともある。子どものメッセージをしっかりキャッチするには、日々のコミュニケーションの積み重ねが大切である。

「大人が見逃す子どもの危険信号」

松原達哉著 学事出版より抜粋